

今月の特集よ!

令和4年9月1日～9月27日

※【 】内の数字は分類番号です。

※ほかにも特集に関する本を用意しています。気軽にお尋ねください。

大特集

～時代小説へようこそ～

今まで時代小説を読んだことがない、読んでみたいけれど、難しそうで、何から読めばいいかわからないという人にも楽しめる時代小説を紹介します。鳥や猫や犬、ときには妖(あやかし)が登場したり、うっとりとする食べものがでてきたり、江戸落語さながらの笑いと情緒にあふれるものだったり読みやすいものを選んでいきます。お気軽に手に取ってみてください。

「本所おけら長屋」1～18巻
畠山健二／著 PHP研究所
2013年 【SNハ】

「銀の猫」
朝井まかて／著 文藝春秋
2017年 【Nア】

「鯖猫長屋ふしぎ草紙」
田牧大和／著 PHP研究所
2013年 【Nタ】

「京都四条月岡サヨの小鍋茶屋」
柏井壽／著 講談社 2020年 【Nカ】



「うずら大名」

畠中恵／著 集英社 2015年 【Nハ】

泣き虫の豪農、吉之助と見目麗しい隠居大名、有月が、豪農の連続殺人を追う江戸時代版ミステリー。欠かせないのが、「御吉兆一つ」と鳴く巾着鶉(うずら)の佐久夜の存在です。愛らしくて、ほっこりしますが、実は気性は荒い鳥で、機嫌が悪いと突かれまです。二人と一羽のコンビは、シリーズ化して欲しい一冊です。



「ことり屋おけい探鳥双紙」
梶よう子／著 朝日新聞出版
2014年 【Nカ】

「駄犬道中おかげ参り」
土橋章宏／著 小学館 2016年 【ND】

「あきない世傳金と銀」1～12巻
高田郁／著 角川春樹事務所
2016年 【SNタ】

「善人長屋」
西條奈加／著 新潮社
2010年 【Nサ】



小特集

～さあ、なに食べる?～

食べ物が美味しい季節になりました。美味しい食べ物は、身体と心を満たし、そして疲れも癒してくれると思いませんか。最近の料理本は、装丁も素敵で眺めるだけでも心躍る♪ そんな本を集めてみました。

「旅ごはん」
小川糸／著 白泉社 2020年 【914才】

「めぐり逢いサンドイッチ」
谷瑞恵／著 KADOKAWA 2019年 【Nタ】

「ラクしておいしい令和のごはん革命」
阿古真理／著 主婦の友社
2021年 【383.8】

「おもてもてなしうらもてなし」
笠原将弘／著 KADOKAWA
2017年 【596】

「ときめく和菓子図鑑」
高橋マキ／文 内藤貞保／写真
山と溪谷社 2016年 【588.3】

「味噌大全」
渡邊敦光／監修 東京堂出版
2018年 【588.6】

